

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス まほろば		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 4日		2025年 11月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 4日		2025年 11月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学生への進学に向けて必要な力を身につけるため、視機能・体幹を鍛え自分の体を思い通りに動かせるようトレーニングを行う。	模写テストをはじめ、保護者からの聞き取り、本人の困り感、他事業所での発達検査を基に個別支援計画を作成し実際のそれぞれのメニューに反映させていく。標準化された発達観察表を基に年齢相応の動きができるかを観察しメニューに反映させていく。	職員において、さらに専門的な資格や研修に参加し子供たちの困り感によりそえるよう研鑽を積む。
2	防災について時間を作り自分たちに実際に起きた時のことを想定してシミュレーションを行う。	9月1日からの1週間を防災週間とし、毎年テーマを変え防災リュックの中身の確認、消防署見学、通報訓練、大規模災害を想定した屋外避難、新聞で作ったコップにビニールをかぶせ飲む、机の下への避難等の防災に関する学習、実践を利用者と一緒に行う。	地域の消防署・交番とさらに連携する。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が活発に行えていない。	保護者の中には通所していることを知られたくない、障害特性を受け入れがたい保護者もおられ関係作りに苦慮している。	トレーニングを通してできにくい事が、学習場面の何に繋がるか等具体的に話し、適切な療育を行うことにより行動修正されていくという事を一緒に確認している。
2	本人家族に困り感なく通所している場合がある。	第三者からの指摘により本人の困り感等が発見された場合本人や保護者の問題解決意識がやすい。	トレーニングによって改善している事柄について、数値や視覚的に表すことにより良化されていることを伝える。
3			